

ミル&ジュースミキサー

品番：TM910

取扱説明書

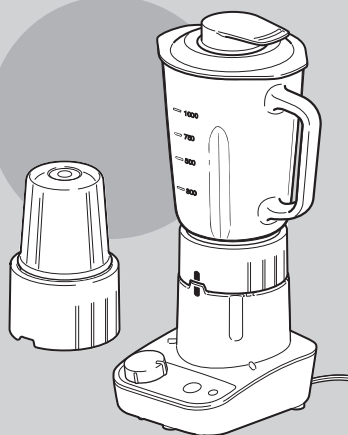
保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

お買い上げありがとうございました。

ご使用になる前に、この取扱
説明書を必ずお読みいただき、
正しくご使用ください。

お読みになった後は、お使いに
なる方がいつでも見られると
ころに必ず保管してください。



も く じ



安全上のご注意	1～4
各部のなまえとはたらき	5～6



組み立てかた・外しかた	7～8
ミキサーの使いかた	9～12
ミルの使いかた	13～14
ミキサーを使ったメニュー	15～16
ミルを使ったメニュー	17



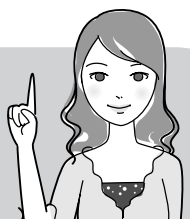
お手入れのしかた	18～19
収納のしかた	20
仕様	20



故障かな?と思ったら	21
------------	----



アフターサービス	22
保証書	裏表紙



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

⚠ 危険

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫度合いが高いと想定される内容を示します。

⚠ 警告

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⚠ 警告



交流100V以外で使わない。
(日本国内専用)
発火する恐れがあります。

長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

- 使用中、動いたり止まったりする
- 電源コードがねじれて戻らなくなった
- 電源コードの根元部分に変形・傷んでいる
- コンセントの差し込みがゆるい



火災・感電・やけど・ショートのため、恐れがあります。

絵表示の例



記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は分解禁止)



記号は、「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)



電源コードは下記のように扱わない。

- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重いものをのせない
- 熱いものに近付けない
- はさみ込まない
- 加工しない
- 束ねたまま使用しない

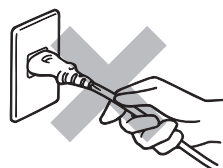
火災・感電の恐れがあります。



コンセントから電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

必ず守る

電源プラグを傷める恐れがあります。



禁止

フタ・センターキャップを取り外した状態で運転させない。
運転中に取り付け
取り外しをしない。

けがをする恐れがあります。



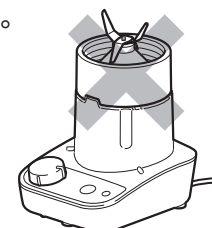
ミキサーボトルの中に指・金属製のスプーンなどを入れない。

けが・故障の恐れがあります。



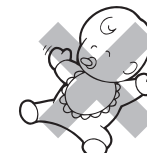
ボトル台・ミルボトル台のみを本体に取り付けけない。

けがをする恐れがあります。



子供だけで使わせない。
幼児の手の届く所で使わない。

子供や幼児がけがをする恐れがあります。



梱包のポリ袋は乳幼児の手が届く場所に置かない。

頭からかぶるなどをするとき口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。



分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

発火・感電の恐れがあります。

安全上のご注意



水場禁止

本体を水につけない。
本体に水をかけない。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の恐れがあります。

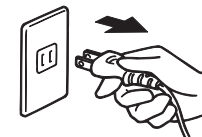
⚠ 注意



電源プラグを抜く

使用後やお手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがをする恐れがあります。



必ず守る

必ず運転が停止していることを確認してから電源プラグを抜く。

けがをする恐れがあります。



禁止

カッターは鋭利なので直接手で触れない。
けがをする恐れがあります。

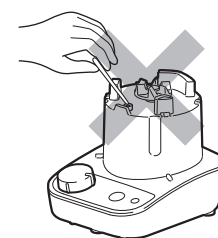


運転中にミキサーボトルの取り付け、取り外しはしない。

けがをする恐れがあります。

安全スイッチを直接、指・棒などで絶対に押さない。

けが・故障の恐れがあります。



⚠ 注意



禁止

不安定な所では使わない。
運転中に移動させない。

けがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

40℃以上の材料は使わない。

ガラス割れやふきこぼれによる、けが・やけどの恐れがあります。



材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まったときは、そのままの状態を使わない。(4ページ参照)

本製品が破損する恐れがあります。

空回ししない。最小目盛りより少ない材料で使わない。

本製品が破損する恐れがあります。



定格時間を超えて連続運転しない。
(次の運転まで指定の時間以上休ませる。)

ミキサー：4分運転・2分休止のくり返し使用で合計15分まで。
合計15分運転したら30分以上休ませる。

ミル：1分運転・30分休止のくり返し。

本製品が故障する恐れがあります。

最大目盛りを超える量の材料を入れない。

〈定格容量〉

ミキサーボトル：1000ml

ミルボトル：200ml

本製品が故障する恐れがあります。



禁止

調理以外の目的では使わない。
本製品が破損する恐れがあります。

使えない材料を入れない。
(9・13ページ参照)

本製品が破損する恐れがあります。

食器洗浄機・食器乾燥機は使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

本製品は家庭用なので、
業務用として使わない。



必ず守る

本体からミキサーボトル部を外すときは、まっすぐに持ち上げて外す。



※安全上のご注意のイラストは
実際の商品とは異なります。

途中で止まった・動かないときは



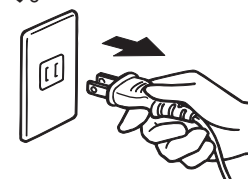
必ず守る

本製品はモーターに負荷がかかりすぎると、モーター保護装置が働き、温度エラーランプが点灯して運転が自動停止します。
また材料の入れすぎや液体量の不足、カッターに材料がはさまるなどの原因で、回転が遅くなったり、止まることがあります。
そのようなときは、以下の手順で対処してください。

※手順を守らない場合、不意にカッターが動き出し、けがをする恐れがあります。

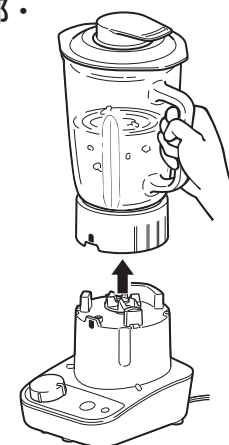
1

電源プラグを抜く。



2

ミキサーボトル部・
ミルボトル部を
本体から外す。



3

材料を他の容器に移す。

●ミキサーボトルに手や
スプーンなどを入れな
いください。



4

下記の対処をする。

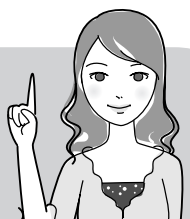
5

温度エラーランプが点灯して止まったときは、製品を30分以上休ませてから使う。

●温度エラーランプが点灯している間は使用できません。

原因	対処のしかた
●量が多い。	●量を減らす。
●材料が大きすぎたり、材料のねばりけが強い、固いなど、混ぜにくい状態になっている。	●材料を細かくする。 ●液体を足す。 ●使えない材料を取り除く。(9・13ページ参照)
●カッターに材料がはさまっている。	●ボトル台を取り外し、さいばしなどではさまったものを取り除く。

上記の方法でも直らないときは、弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(22ページ参照)

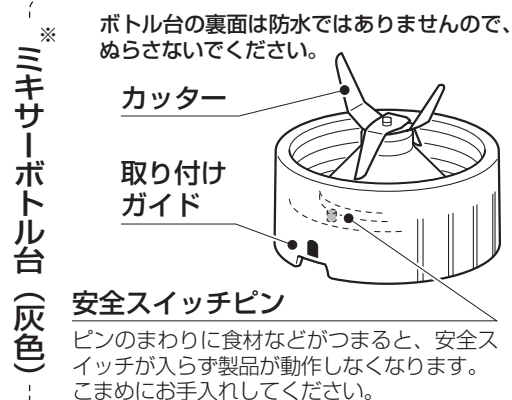
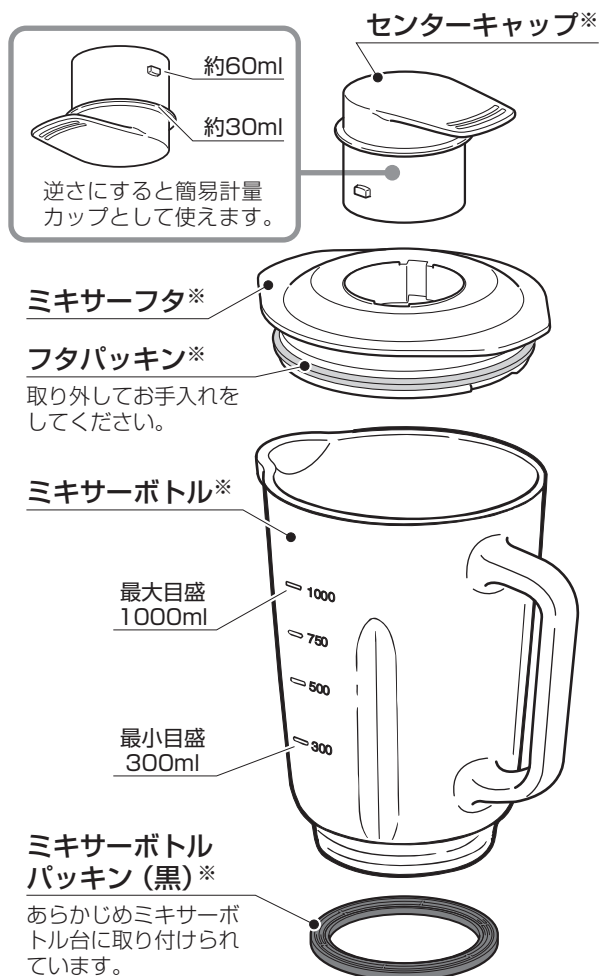


各部のなまえとはたらき

はじめに、すべての部品・付属品が揃っていることを確かめください。
「※」の付いた部品・付属品はお取り寄せできます。お買い上げ販売店、または弊社
「お客様相談窓口」へお問い合わせください。(22ページ参照)
ホームページでもお問い合わせいただけます。

<http://www.tescom-japan.co.jp/support/>

ミキサーボトル部

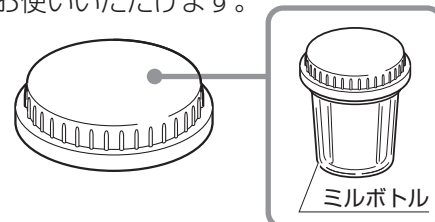


ミルボトル部



ミルフタ※

ミルボトルに付けると保存容器として
お使いいただけます。



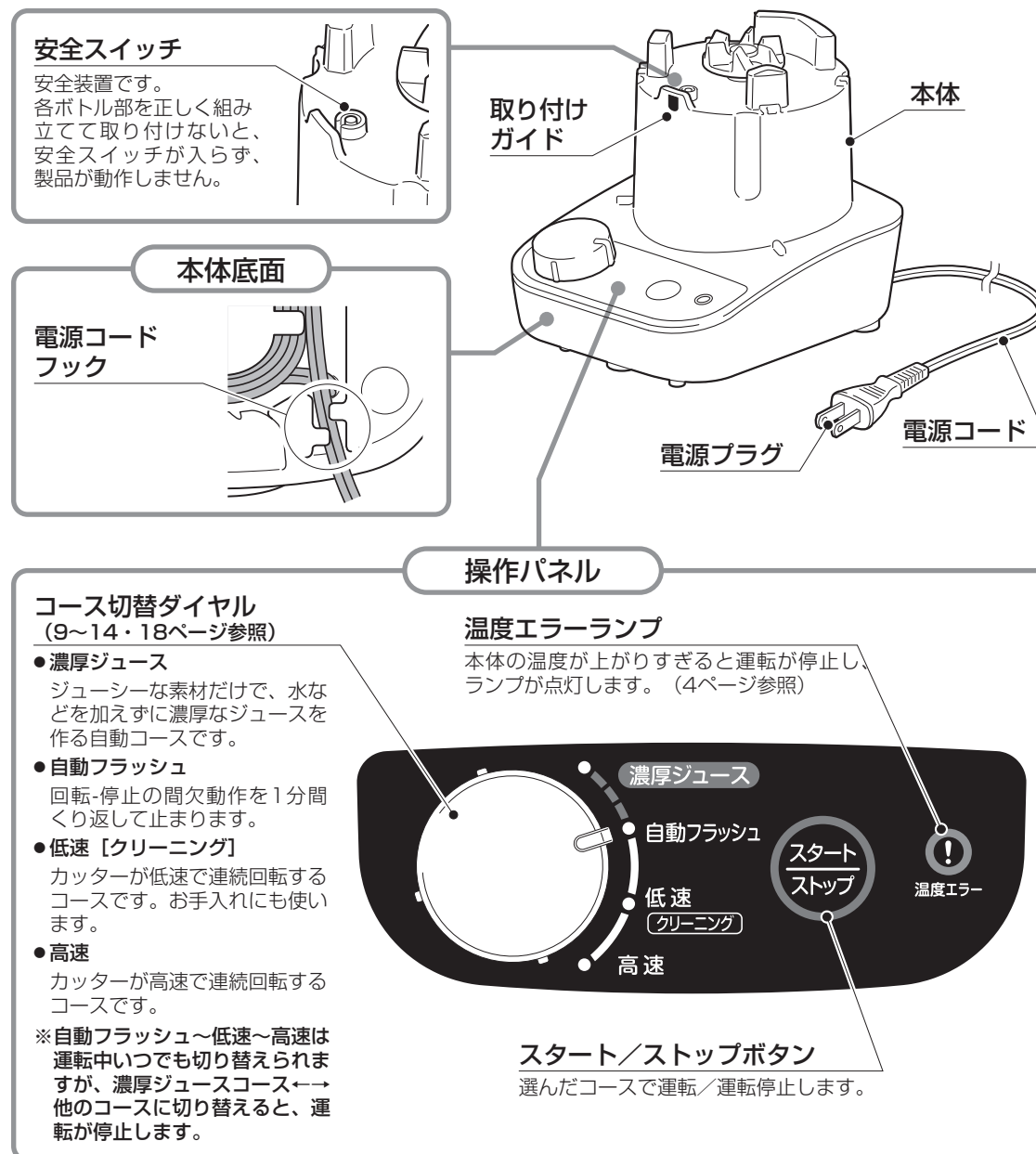
ヘラつきブラシ※

材料を取り出したり、お手入れをする
ときに使います。

各部のなまえとはたらき

製品および部品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

本 体





組み立てかた・外しかた

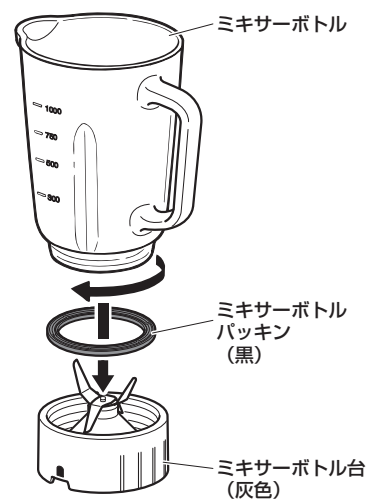
ご 注 意

- 各ボトル部は正しく組み立てる。
パッキンを取り付け忘れたり、各ボトル台の
取り付けがゆるいと、製品が動作しないよう
になっています。
- ボトル・ボトル台・ボトル台パッキンの組み
合わせを間違えない。
- ボトル台のカッターには直接触れない。
けがの恐れがあります。

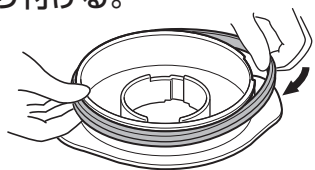
ミキサーボトル部の組み立てかた

1 ミキサーボトルをミキサーボトル台 (灰色)に取り付ける。

- ①ミキサーボトル台(灰色)に、ミキ
サーボトルパッキン(黒)を取り付
けます。
- ②ミキサーボトルをミキサーボトル
台にはめ、図の矢印の方向に回して取
り付けます。

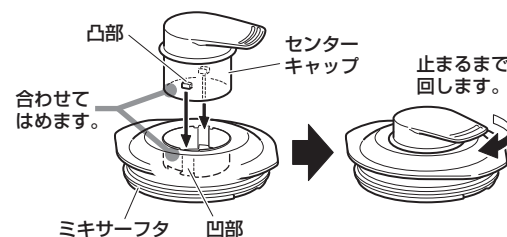


2 ミキサーフタの溝にフタパッキンを取 り付ける。



3 ミキサーフタにセンターキャップを取 り付ける。

- ①ミキサーフタ内側の凹みに、センタ
ーキャップの凸部を合わせてはめま
す。
- ②センターキャップを図の矢印の方向
に回して取り付けます。



- 調理の途中、センターキャップを外して、ミ
キサーフタ中央の穴から材料を追加するこ
とができます。その際は、必ずスタート/スト
ップボタンを押して、回転が完全に止まって
からセンターキャップを外してください。

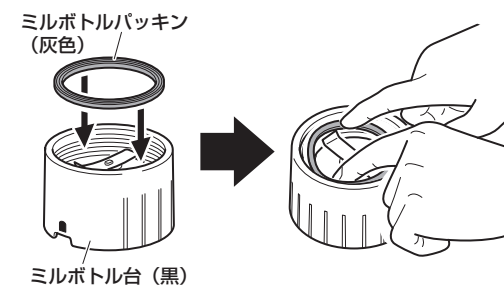
4 ミキサーボトルに材料を入れ (9～12 ページ参照)、 ミキサーボトルとミキサーフタの 形を合わせてしっかりと合はめる。



組み立てかた・外しかた

ミルボトル部の組み立てかた

1 ミルボトル台(黒)にミルボトル パッキン(灰色)を取り付ける。



- パッキンはしっかりと取り付けてください。
容器内で巻き込まれて、パッキンが切れたり、
材料がもれる場合があります。

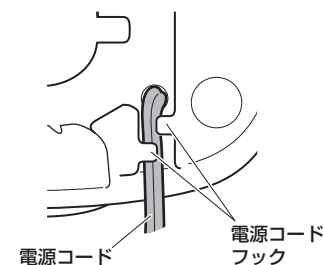
2 ミルボトルに材料を入れ (13ページ参照)、 ミルボトル台を図の 矢印の方向に回して 取り付ける。

- 取り付けの溝に材料などを
はさまないように注意して
ください。
すき間ができ、材料がもれ
出す原因となります。

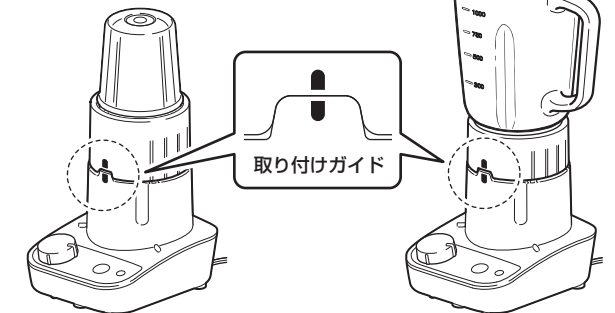


本体への取り付けかた

1 本体底に電源コードを 巻きつけてある場合は、 すべてほどく。 電源コードの根元を電 源コードフックに通す。

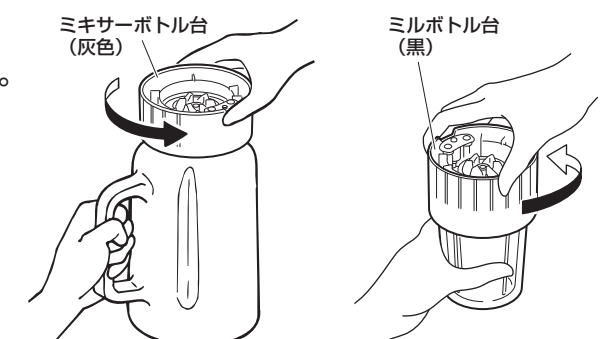


2 本体の取り付けガイドマークと、 ミキサーボトル台/ミルボトル 台の取り付けガイドを合わせて、 ボトル部を本体に乗せる。



各ボトル台の取り外しかた

1 各ボトルをしっかりと押さえ、 図の矢印の方向に回して取り外す。





ミキサーの使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください（18・19ページ参照）

ご 注 意

- ミキサーボトル部は、正しく組み立てる（7ページ参照）。安全装置が働き、動作しくなります。
- 40℃以上の材料は入れない。
- 運転が途中で止まったときは、4ページの手順で対処する。
- ボトルフタ・センターキャップを取り外したまま使わない。
- 調理中に材料を足すときは、スタート／ストップボタンを押してカッターの回転が止まってから、センターキャップを外して材料を入れる。

使えない材料（禁止材料）

本製品はフードプロセッサーと違い、材料を細かくする、水分の少ないものをまぜる・こねる、ペーストを作るといった用途には使えません。



★使えない材料

40℃以上の材料／市販の氷・冷凍食材／肉・魚類／粉もの／食材でないもの／固いもの・繊維質のもの（乾燥大豆・穀類・煮干しなどの乾物・ドライフルーツ・しょうがなど）／ねばりけの強いもの・水分の少ないもの（とろろいも・ゆでた大豆・こんにゃくなど）

材料の下ごしらえ

各材料は2cm角の大きさに切ります。

★くだもの

皮の厚いものは、皮をむきます。芯・種を取ります。



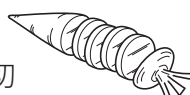
★かんきつ類

皮をむき小房に分けます。種を取ります。



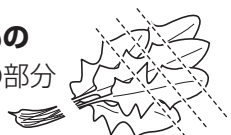
★にんじんなどの固いもの

厚さ2～3mmにスライスします。（大きいものは切ります）



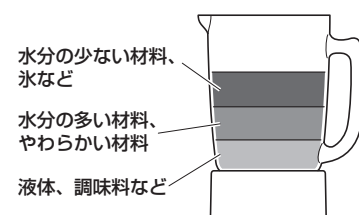
★ほうれん草などの葉もの

茎を切り落とし、葉の部分だけを使います。



材料の入れかた

ボトルには水分を最初に入れ、水分の多い材料から少ない材料の順に入れます。



- ミキサーボトルに入れる材料は、液体も含めて最小目盛（300ml）以上、最大目盛（1000ml）以下にしてください。
- 氷は家庭用製氷皿で作った氷（2.5cm角程度）を使い、1度に入れる数は10個までにしてください。

ミキサーの使いかた

基本的な使いかた

ご 注 意

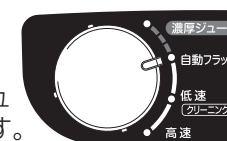
- 4分使ったら2分以上休ませる。運転時間の合計が15分を超えたら、30分以上休ませる。
- 必ず材料が浸るくらいの水分を入れる。水分が少ないときは、最後に液体を足す。



自動フラッシュ：最初に数秒使ってください。「回転→停止」の間欠運転で、材料を混ぜやすくします。

低速：やわらかい材料（バナナなど）のジュースやポタージュ作りに使います。フワツとした口あたりに仕上がります。

高速：通常の調理に使います。サラツとした飲み口に仕上がります。

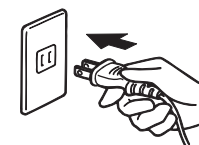


1 電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認する。

2 組み立てたミキサーボトル部に材料を入れ、ミキサーフタ・センターキャップを取り付ける。（7ページ参照）

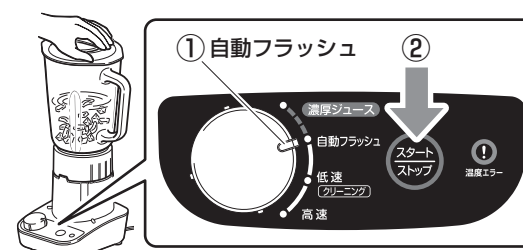
- 必ず材料が浸るくらいの水分を入れてください。

3 ミキサーボトル部を本体に乗せ（8ページ参照）、電源プラグをコンセントに差し込む。

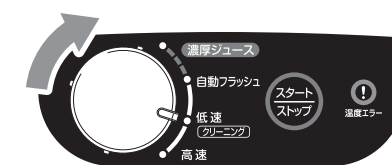


4 ①ダイヤルを自動フラッシュに合わせる。

②ミキサーフタを手で押さえながらスタート／ストップボタンを押す。

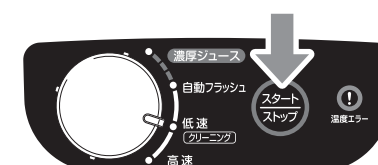


5 材料が混ざり始めたらダイヤルを低速または高速に切り替える。



- 自動フラッシュ～高速までは、運転中いつでも切り替えられます。
- 運転中は、ミキサーフタを手で押さえてください。

6 お好みの状態になったらスタート／ストップボタンを押して止める。



- スタート／ストップボタンを押さなくても、安全のため4分後に運転が止まります。

7 回転が完全に止まってから電源プラグをコンセントから抜き、ミキサーボトル部を本体から外す。

濃厚ジュースの作りかた

ご 注 意

- 必ず9ページの注意事項・材料についての指示を守って使う。
- 4回使ったら2分以上休ませる。
合計8回使用したら、30分以上休ませる。
- ベースとして、分量の半分以上を、やわらかく水分の出やすいくだもの・野菜にする。
(切り口から汁が垂れる／指で押しつぶせるやわらかいものが適しています。)
例：かんきつ類・トマト・スイカ・メロン・ぶどう・パイナップルなど
※バナナ・リンゴ・葉ものなど、水分の少ない材料だけでは作れません。



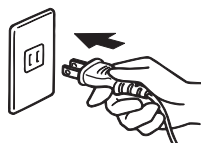
濃厚ジュース：水分の多いくだもの・野菜をベースに、水などを加えずに濃厚なジュースが作れます。
最初に「回転→停止」の間欠動作をくり返し、1分間連続運転して自動で停止します。



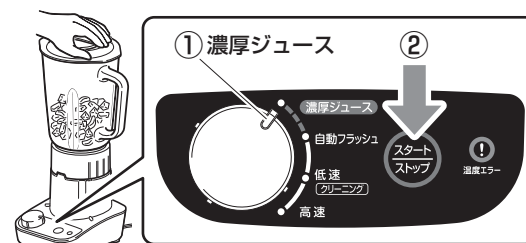
1 電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認する。

2 組み立てたミキサーボトル部に材料を入れ、ミキサーフタ・センターキャップを取り付ける。(7ページ参照)

3 ミキサーボトル部を本体に乗せ(8ページ参照)、電源プラグをコンセントに差し込む。



4 ①ダイヤルを濃厚ジュースに合わせる。
②ミキサーフタを手で押さえながらスタート/ストップボタンを押す。



- 途中で運転を止めるときは、スタート/ストップボタンを押してください。
- 材料の水分が少ないと、まざりにくいことがあります。その場合は途中で運転を止め、回転が完全に止まってからセンターキャップを開けて水分を足し、やり直してください。
- 運転中は、ミキサーフタを手で押さえてください。

5 回転が完全に止まってから電源プラグをコンセントから抜き、ミキサーボトル部を本体から外す。

かき氷の作りかた

ご 注 意

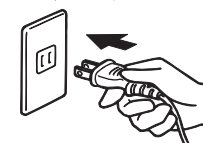
- 必ず9ページの注意事項を守って使う。
- 氷は家庭用製氷皿で作った角氷(約2.5cm角・15g程度)を使う。
- ミキサーボトルはよく水気を取り、氷はよく冷えた氷を使う。繰り返し作るときは、1回ごとに水気をよく拭き取る。ミキサーボトル内や氷が湿っていると、うまく作れません。
- 氷が刃にはさまって止まった／動かないときは、必ず運転を停止して電源プラグを抜き、4ページの手順に従って対処する。けがをする恐れがあります。

1 電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認する。

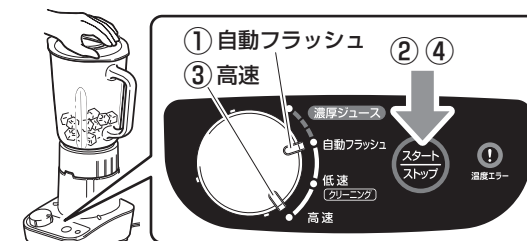
2 組み立てたミキサーボトル部に氷を入れ、ミキサーフタ・センターキャップを取り付ける。(7ページ参照)

- 一度に使える氷は10個までです。

3 ミキサーボトル部を本体に乗せ(8ページ参照)、電源プラグをコンセントに差し込む。



4 ①ダイヤルを自動フラッシュに合わせる。
②ミキサーフタを手で押さえながらスタート/ストップボタンを押し、3回ほど回転させる。
③ダイヤルを高速に切り替える。
④お好みの状態になったら、スタート/ストップボタンを押して止める。



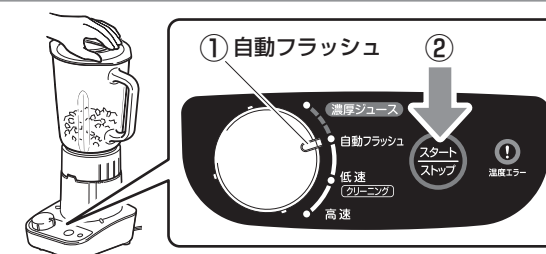
- 運転中は、ミキサーフタを手で押さえてください。

5 回転が完全に止まってから電源プラグをコンセントから抜き、ミキサーボトル部を本体から外す。

- ヘラ付きブラシで取り出すと、取り出しやすいです。

クラッシュアイスを作るには....

- 上の手順4で、自動フラッシュだけを使うと氷を砕くことができます。
- お好みの状態になったら、スタート/ストップボタンを押して止めてください。





ミルの使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください（18・19ページ参照）

ご 注 意

- ミル部は、正しく組み立てる（8ページ参照）。安全装置が働き、動作しなくなります。
- 40℃以上の材料は入れない。
- 運転が途中で止まったときは、4ページの手順で対処する。

使えない材料（禁止材料）

ミルでは、乾燥した材料は粉末にできますが、水分・油分を含んだ材料は碎けません。

★使えない材料

40℃以上の材料／氷・冷凍食材／穀類（生米・はと麦など）／ドライフルーツ／食材でないもの／固いもの・繊維質のもの（かつおぶし・うどん・根昆布・炒っていない豆類・黒砂糖・香辛料・錠剤・しょうが・たくあんなど）／水分・油分が出るもの（ピーナッツ・くるみ・ごま・肉・魚類など）

材料の下ごしらえ

★ドライメニュー

水分のある材料（桜えび・ちりめんじゃこなど）は、フライパンで炒るか電子レンジで水分を飛ばして、よく冷まします。大きい材料・長い材料は2cm角に切ります。

★ウェットメニュー（ペースト・少量のジュースなど）

9ページを参考に、1cm角に切ります。ペーストの材料に火を通すときは、電子レンジは使わずに、ゆでてください。

材料の入れかた

メニューによって最大容量が異なります。



液体最大容量:200ml
ウェットメニュー調理時は、材料をこの線以下にしてください。

乾物最大容量
ドライメニュー調理時は、材料をこの線以下にしてください。

- ドライメニューの材料は、完全に冷ましてから入れてください。
- 氷は家庭用製氷皿で作った氷（2.5cm角程度）を使い、1度に入れる数は2個までにしてください。

離乳食を作るときは

- 離乳食の材料は、十分にやわらかくなるまでゆでてください。
- ミルで調理したあと、別容器に移して加熱殺菌してください。
- お子様に合わせて、ペーストのゆるさを調節してください。
- 作り置きはしないでください。

ミルの使いかた

基本的な使いかた

ご 注 意

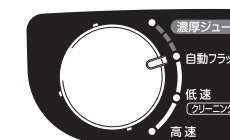
- 運転時間の合計が1分を超えたら、30分以上休ませる。
- 運転中は、ミルボトルを手で押さえる。



ミルでは低速を使いません。高速を使い短時間で仕上げます。

ドライメニュー：高速を使ってください。

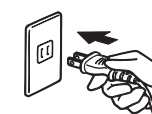
ウェットメニュー：最初に自動フラッシュで数回かくはんしてから、高速に切り替えて調理します。



1 電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認する。

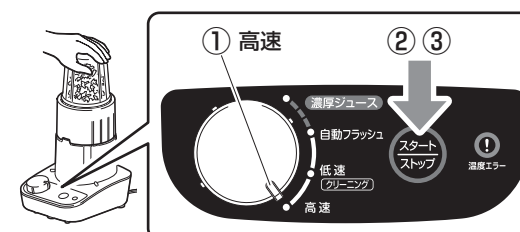
2 材料を入れたミルカップにミルボトル台を取り付ける。（8ページ参照）

3 ミルボトル部を本体に乗せ（8ページ参照）、電源プラグをコンセントに差し込む。



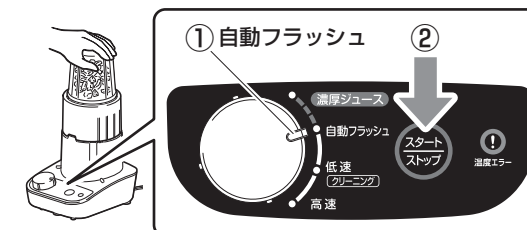
4 **ドライメニュー**

- ①ダイヤルを高速に合わせる。
- ②ミルボトルを手で押さえながらスタート/ストップボタンを押す。
- ③好みの状態になったら、スタート/ストップボタンを押して止める。

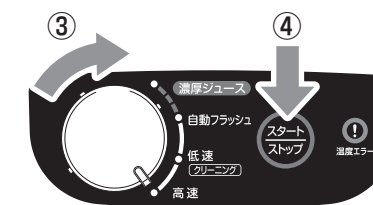


ウェットメニュー

- ①ダイヤルを自動フラッシュに合わせる。
- ②ミルボトルを手で押さえながらスタート/ストップボタンを押して5回ほど回転させる。



- ③ダイヤルを高速に切り替える。
- ④好みの状態になったら、スタート/ストップボタンを押して止める。



5 回転が完全に止まってから電源プラグをコンセントから抜き、ミルボトル部を本体から外す。



ミキサーを使ったメニュー

材料の下ごしらえ、ミキサーの使いかたについては、9～12ページを参照してください。
材料の番号順にミキサーボトルに入れてください。
できあがりの量の目安は3～4人分です。

ジュース

- 野菜・くだものは芯や皮、種などを取り除いた重さです。
- 「低速」となっているジュースでも、なめらかな口当たりには上げたいときは「高速」で作ってください。その場合、フラッシュ後のかくはん時間を5～10秒ほど短かめにしてください。

ミックスジュース

材料

- ①牛乳……………200ml
- ②もも（完熟）……………100g
- ③バナナ……………90g
- ④パイナップル……………100g
- ⑤はちみつ……………大さじ1
- ⑥角氷……………5個（75g）

かくはん時間

「自動フラッシュ」3回 → 「低速」1分

にんじんりんごジュース

材料

- ①牛乳……………200ml
- ②水……………100ml
- ③りんご……………100g
- ④にんじん……………100g
- ⑤はちみつ……………大さじ1
- ⑥角氷……………5個（75g）

かくはん時間

「自動フラッシュ」3回 → 「高速」1分30秒

バナナミルク

材料

- ①牛乳……………400ml
- ②バナナ……………140g
- ③卵黄（Mサイズ）……………2個
- ④はちみつ……………大さじ1

かくはん時間

「自動フラッシュ」5回 → 「低速」1分

小松菜りんごジュース

材料

- ①水……………150ml
- ②小松菜……………100g
- ③りんご……………100g
- ④バナナ……………70g

かくはん時間

「自動フラッシュ」5回 → 「高速」1分

濃厚ジュース

濃厚トマトオレンジジュース

材料

- ①トマト……………300g
- ②オレンジ……………200g

かくはん時間

「濃厚ジュース」コース

濃厚グリーンジュース

材料

- ①グレープフルーツ（ホワイト）……………240g
- ②パイナップル……………160g
- ③チンゲン菜……………120g
- ④はちみつ……………小さじ2
- ※チンゲン菜は、ほかの葉野菜で代用可。

かくはん時間

「濃厚ジュース」コース

ミキサーを使ったメニュー

フローズン

つぶつぶマンゴーシェイク

材料

- ①牛乳……………50ml
- ②ヨーグルト……………150g
- ③はちみつ……………大さじ1
- ④角氷……………10個（145g）
- ⑤マンゴー……………100g
- ※マンゴーは、いちご・キウイなどで代用可。

作りかた

- ①①～④をミキサーボトルに入れ「自動フラッシュ」5回 → 「高速」10秒。
- ②センターキャップを取り外し、マンゴーを入れ「自動フラッシュ」3回。

デザート

ヨーグルトムース

材料

- ①プレーンヨーグルト……………200g
- ②バナナ……………150g
（レモン汁… 小さじ1/2 をふりかけておく）
- ③練乳……………大さじ2
- ④氷……………3個
- A { 粉ゼラチン……………5g
お湯……………50ml

作りかた

- ①Aをまぜ、しっかりと溶かしておく。
- ②ミキサーボトルに①～③と④を入れ、「低速」で30秒かくはんする。
- ③センターキャップを取り外し、氷を加えて「低速」で30秒かくはんする。
- ④器に注ぎ入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

スープ

ヴィシソワーズ

材料

- ①たまねぎ（薄切り）……………100g
- ②じゃがいも（薄切り）……………250g
- ③バター……………10g
- ④スープ
（※固形スープ1個をお湯で溶かす）……………500ml
- ⑤調整豆乳……………150ml
- ⑥塩・こしょう……………少々

作りかた

- ①じゃがいもは水にさらして水けを切る。
- ②鍋にバターを入れて、たまねぎをよく炒め、じゃがいもを加えてさらに炒める。
- ③スープを加え、じゃがいもがやわらかくなるまで弱火で煮る。（水分がなくならないよう注意する）
- ④③を冷まし（約40℃以下）ミキサーボトルに入れ、「低速」で約1分。
※「高速」では調理できません。
- ⑤あら熱を取り、冷蔵庫で冷やす。
- ⑥調整豆乳を加え、塩・こしょうで味を調える。

低速での調理におすすめの食材

トマト・バナナ・メロン・パイナップル・いちごなどの、やわらかい野菜やくだもの



ミルを使ったメニュー

材料の下ごしらえ、ミルの使いかたについては、13・14ページを参照してください。

ジュースメニューとウェットメニュー

メニュー	材料・分量	作りかた
バナナ ミルク	バナナ …… 40g 卵黄(Mサイズ) … 1/2個 牛乳 …… 100ml ハチミツ …… 小さじ1	①はじめに牛乳を入れる。 ②「自動フラッシュ」5回。 ③「高速」で30秒。
マヨネーズ	卵黄 …… 1個 酢 …… 大さじ1と1/2 砂糖 …… 小さじ1/2 塩 …… 小さじ1/4 こしょう …… 小さじ1/4 サラダ油 …… 60ml	①ミルボトル・ミルボトル台の水分・油分をよく拭き取る。 ②すべての材料をミルボトルに入れる。 ③「高速」で60秒。
ほうれん草 ペースト	ほうれん草 …… 50g だし汁 …… 大さじ4	①ほうれん草はやわらかくゆで、水にさらした後、軽く水切りして1cmくらいの長さに切る。 ②ミルボトルに、ほうれん草・だし汁を入れる。 ③「高速」で30秒。 ※離乳食の注意については13ページを参照してください。
さつまいも スープ	さつまいも …… 50g ゆで汁 …… 120ml	①さつまいもは、やわらかくなるまで15分ほどゆでる。 ②ミルボトルに、さつまいも・ゆで汁を入れる。 ③「高速」で30秒。 ※離乳食の注意については13ページを参照してください。

ドライメニュー

メニュー	材料・分量	作動時間	下準備
ふりかけ	煮干 …… 8g (大2〜3尾) 桜海老 …… 3g 煎りゴマ … 大さじ1 (約5〜6g) 焼き海苔 … 1/2帖 緑茶 …… 大さじ1 (約5〜6g)	10秒	煮干は、頭と腹をとって2〜3つに折る。 焼き海苔は、2cm角くらいにちぎる。 ※5種類の材料を味のお好みで選んで、分量を調節して使います。
粉末 ダシ	煮干 …… 20g (大5〜6尾)	30〜40秒	頭と腹を取ってから、電子レンジで乾煎りして粗熱を取り、指でバキバキと折れる程度まで乾燥させ、3つくらいに折る。
	ダシ昆布 … 10g	40〜50秒	フライパンで指でバキバキ折れる程度まで乾煎りし、粗熱を取り、1〜2cm位の大きさに折る。 ※電子レンジでの乾煎りはこげてしまうことがあります。
コーヒード	コーヒード … 20g	約15秒	焙煎したものを使う。※濃さのお好みにより時間を調節します。
きな粉	煎り大豆 … 50g	約50秒	フライパンや電子レンジで乾煎りして粗熱を取る。
生パン粉	食パン …… 6枚切 1/4枚	約3秒	2cm角くらいにちぎる。



お手入れのしかた

必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。

クリーニング機能の使いかた（ボトル予備洗い）

1 クリーニングの準備をする。

ミキサーボトル

10ページの手順1〜3に従い
水またはぬるま湯
(40℃以下)：1000ml
台所用中性洗剤：数滴
を入れたミキサーボトル部を本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込む。

ミルボトル

14ページの手順1〜3に従い
水またはぬるま湯
(40℃以下)：100ml
台所用中性洗剤：数滴
を入れたミルボトル部を本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込む。

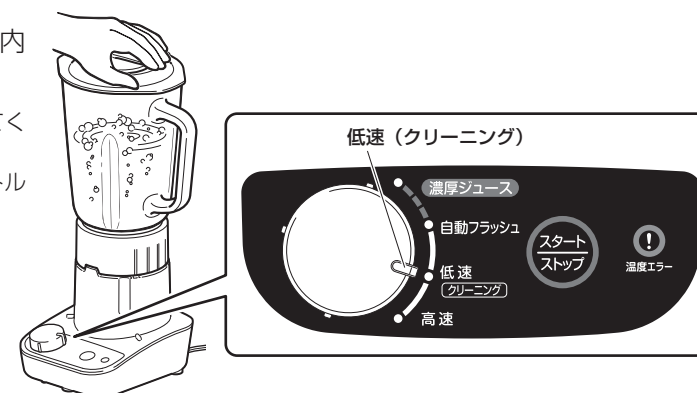
- 泡があふれることがありますので、洗剤を入れすぎないでください。
- 各ボトルは耐熱ガラス製ではありません。40℃を超える熱いお湯は入れないでください。

2 ダイヤルを低速「クリーニング」に合わせ、ミキサーフタ／ミルボトルを手で押さえながらスタート／ストップボタンを押す。

運転時間

ミキサー：30秒〜2分以内
ミル：1分以内

- 汚れの程度により、時間を調整してください。
- 運転中は、ミキサーフタ／ミルボトルを手で押さえてください。



3 スタート／ストップボタンを押して運転を止め、回転が完全に止まってから電源プラグをコンセントから抜く。

4 中の水（ぬるま湯）を捨て、水で軽くすすいでから各部に分けてお手入れをする。

お手入れのしかた

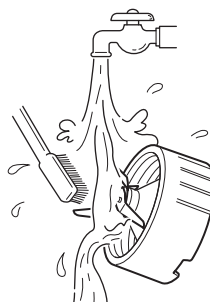
各ボトル台

①付属のヘラつきブラシを使って、水かぬるま湯（40℃以下）でよく洗い流す。

- 安全スイッチピンのまわりは、こまめにお手入れしてください。食べ物などがつまると、正常に動作しなくなります。

②ボトル台裏面は防水ではないので、よくしぼった布で汚れを拭き取る。

③水分を拭き取り、十分に乾燥させる。



各ボトル・各フタ・センターキャップ・各パッキン

①センターキャップは、取り付けるときと逆方向に回して、ミキサーフタから取り外す。

②フタパッキンは、軽く引っ張りながら取り外す。

③スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

④水分を拭き取り、十分に乾燥させてから各部を組み立てる。（7・8ページ参照）



お手入れの後は、十分に乾燥させてからミキサーボトル部を本体にセットし（20ページ参照）、直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。

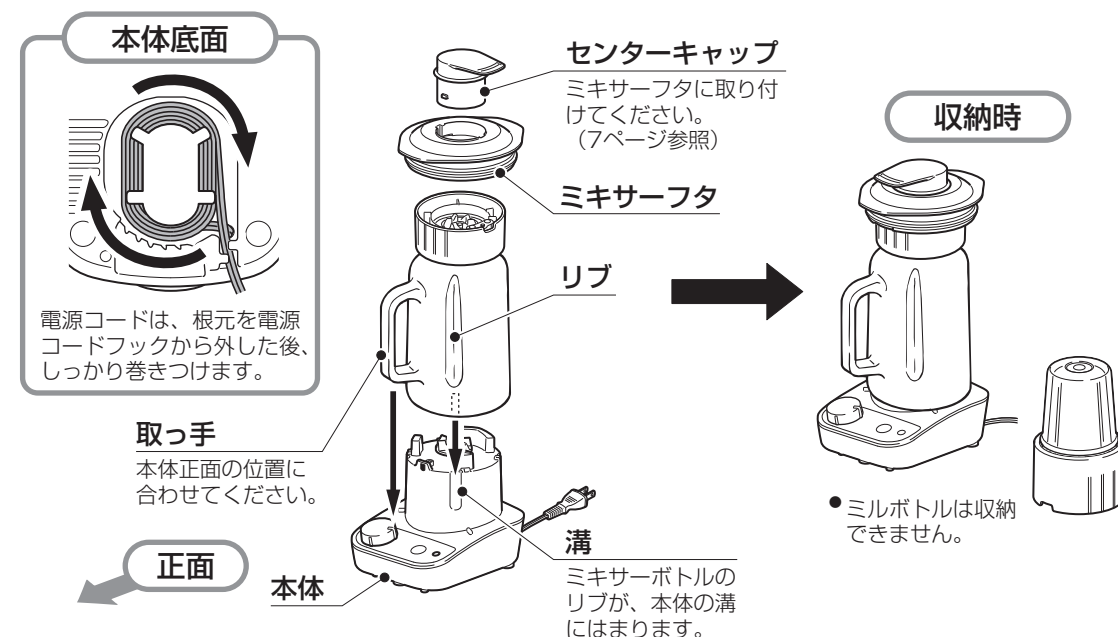
ご 注 意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使わない。
- カッターには直接触れない。
- カッターはボトル台から分解しない。
- お手入れ後は、各パッキンを取り付けておく。
- 各ボトルはガラス製なので、取り扱いには十分注意する。

収納のしかた



電源コードを時計回りに本体底に巻きつけ、ミキサーボトルとミキサーフタを下図のように重ねると、コンパクトに収納できます。



ご 注 意

- カビなどが発生する恐れがあるので、フタ・パッキン・ミキサーボトル・ボトル台は十分に乾燥させてから収納する。

仕 様

品 名	ジュースミキサー	質 量	本体：1.1kg
品 番	TM910		ミキサーボトルとボトル台：約1.5kg
電 源	AC100V 50/60Hz		ミルボトルとボトル台：約900g
消 費 電 力	240W	寸 法	高さ380×幅135 ×奥行165 (mm)
回 転 数	約12000回転/分 (高速) (1000ml水負荷時)	コード長さ	1.2m
定 格	ミキサー機能：4分使用・2分休止のくり返し使用で合計15分まで ミル機能：1分使用・30分休止のくり返し		
ボトル容量	ミキサーボトル：最大1000ml 最小300ml ミルボトル：最大200ml		



故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
(22ページ参照)

こんなときは	考えられる原因	処置の方法
振動が大きい。 カッターの回転が遅い。	●材料が大きすぎる。 ●材料が多すぎる。 ●カッターに材料がはさまっている。 ●水分が少なすぎる。	●4 ページの手順1～4 に従って対処し、やり直してください。 それでも直らない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。 (22 ページ参照)
ボタンを押しても動かない。	●各ボトル部が正しく組み立てられていない。本体に正しく取り付けられていない。 ●電源プラグが抜けている。	●正しく組み立て・取り付け直してください。 (7・8 ページ参照) ●電源プラグをコンセントに差し込む。
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 (温度エラーランプが点灯している。)	●カッターに氷や材料がはさまっている。	●4ページの手順に従って対処してください。 それでも直らない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。 (22 ページ参照)
水がもれる。	●各ボトル台がしっかり取り付けられていない。 ●パッキンが正しく取り付けられていない。	●4ページの手順に従って対処してください。
煙が出る。	●材料が大きすぎる。 ●カッターに材料がはさまっている。	●正しく組み立て直してください。 (7・8 ページ参照)
コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(22ページ参照)

品質表示

ミルボトル	原料樹脂：ソーダガラス 容 量：有効容量200ml (容積330ml)	ミ ル フ タ	原料樹脂：ポリプロピレン 耐熱温度：110℃ 耐冷温度：-30℃
取り扱い上の注意	●火のそばに置かないでください。 ●電子レンジ、オーブンには使用しないでください。 ●煮沸消毒や食器洗浄機、食器乾燥機には使用しないでください。		

表示者 株式会社テスコム 東京都品川区西五反田5-5-7



アフターサービス

1.保証書について ————— 保証期間はご購入日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はご購入の販売店で「販売店名・ご購入日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼される時

- 保証期間中は商品に保証書を添えてご購入の販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはご購入の販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、ご購入の販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身の分解修理は危険です。(修理には特殊な技術が必要です。)

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

ご購入の販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、ご購入の販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、ご購入の販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口

受付時間：平日 9時～17時

- 部品・修理についてのお問い合わせ



0120-343-122

- 商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ



0120-106-018

〒390-1242 長野県松本市和田4217-1 FAX 0263-40-3840

株式会社 **テスコム**

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7

愛情点検



●長年ご使用のミル&ジュースミキサーの点検を！

こんな症状は
ありませんか

症状

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- こげくさい臭いがする。
- 製品の一部に割れ・ゆるみ等がある。
- その他、異常や故障がある。

ご使用
中止事故防止のため、電源プラグ
を抜き、販売店に点検・修理
をご相談ください。

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」の項をご覧ください。

当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保 証 書 持込修理

品 番	TM910	保証期間	お買い上げ年月日より 1年間	保証対象	本体
★お客様	ご芳名	様	★お買い上げ年月日	年	月 日
	ご住所（〒 ）		住所・店名		
	お電話		電話		
★販売店					

株式会社 **テスコム** www.tescom-japan.co.jp

本社／東京都品川区西五反田5-5-7 工場／長野県松本市和田4217-1